

Baby Chair BC01

取り扱い説明書

はじめに

お子様の成長と共に、座面・脚掛面の高さを調整してご使用して下さい。保護枠の必要なお子様には、座面を最上段の位置でご使用して下さい。



調整

保護枠の取り外し

- ①写真Aの様に、付属の六角レンチをボルトの六角穴に差し込みます。
- ②差し込んだ六角レンチを矢印方向（反時計回り）に回し、緩めてはずして下さい。同様に残り1ヶ所のボルトもはずして下さい。
- ③ベルトから保護枠をはずします。次に、座面下よりベルトを引き抜いて下さい。

※ 保護枠の取り付けは、取り外しの逆に行ってください。

写真A



保護枠の保管

お子様の成長と共に、ご使用にならなくなった保護枠は、写真Bの様に座板・脚掛板の下段などの邪魔にならないところで固定し保管して下さい。

※ 保護枠は、木を曲げて製作していますので、単体で保管している場合、伸縮し次回の取り付けが困難になる場合があります。

写真B

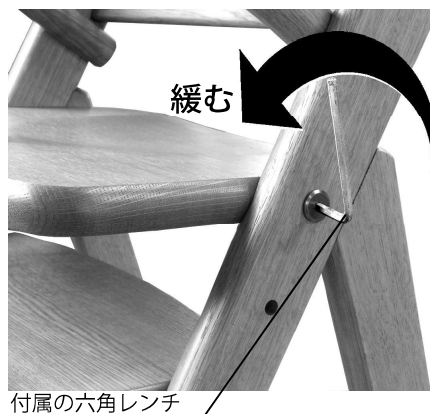


座板・脚掛板

- ①写真Cの様に、付属の六角レンチをボルトの六角穴に差し込みます。
- ②差し込んだ六角レンチを矢印方向（反時計回り）に回し、緩めてはずして下さい。
- ③座板の両端を持ち、前方に引くと座板がはずれます。次に座板の移動を行います。（お子様の成長に合わせて一段ずつ下げるのが良いでしょう。）座板を、脚の溝に合わせ前方より差し込みます。次にボルトを軽く締め付けます。（この時、ボルトを軽く差し込みながら、座板を前後に動かすと、ナット穴が探しやすいでしょう。）もう一方も同様にボルトを軽く差し込みます。ボルトがナットに入った事を確認してから確実に固定して下さい。（ボルトを無理に回すと、ナットを破損する恐れがあります。）
- ④脚掛板も座板と同様に、高さ調整を行って下さい。

※ 付属の六角レンチは紛失しないように、保管して下さい。

写真C



ご使用上のご注意

長期間使用していると、ボルトが緩んでくる事があります。緩んだまま使用していると、木部の破損、及びケガをする恐れがありますので注意して下さい。又、ジョイント用の小さな穴が開いています。お子様が指などを入れて遊ぶとケガをする恐れがありますので、十分注意して下さい。



KASHIWA
HIDA DESIGN

〒506-8585 岐阜県高山市上岡本町 1-260 TEL 0577-32-3150 FAX 0577-34-7417 <http://www.kashiwa.gr.jp>

2017.11